

## 市民と市議会との意見交換会開催結果（概要）

市民と市議会との意見交換会が10月3日に市民会館と別府センター、10月4日に城山センターと立神センターで行われました。

まず、テーマに沿った意見交換会を行い、その後、自由討論を行いました。

意見交換会の主なやりとり等については次のとおりです。

なお、意見交換会の開催結果については、議長から市長へ送付しています。

### テーマ 産業の振興について～ふるさと応援寄附金を活用した事業～

#### [主な質問・意見]

**問** 市長は産業振興のためにトップセールスをする公約で述べているが、その成果はどうか。

**答** 現在、東京などに多く足を運んでいるようだ。  
そのほかに、東海・近畿枕崎会などへも参加している。

**問** 銀座のホコ天などで、土・日に枕崎の地場産品の露店を出して出品し、多くの人にPRしてはどうか。

**答** 渋谷区役所が食堂で、鹿児島市と提携し鹿児島の食を提供する。枕崎産のかつおぶしでだしをとったそばが区役所で提供されるようになる。  
有楽町のかごしま遊楽館に枕崎の地場産品を出品している。

**問** ふるさと納税について、目標は立てているのか。

**答** 企業版ふるさと納税が枕崎はないので、今から作っていったら、例えば野球場のラバーフェンス設置費用など、いろいろなものに生かしていかなければいけないと考える。  
今年度から返礼率が3割に変更になったが、返礼品の受注・発注を民間に委託した。民間の力を活用し、前年並みの納税を目指してもらいたいと考えている。

**問** 枕崎の水産業は、10年前と現状はどうか。

**答** 枕崎漁港の平成29年水揚げ数量は、約9万3,000トン、金額で約182億円である。  
これは、ここ数年の実態は横ばいであり、全国第8位の取扱実績である。

**問** 「あごだし」が自販機で売っているが、味がいい。かつおだしについて、もっと一考すべきではないか。

**答** かつおだしはだしの横綱である。

**問** フランスにかつおぶし工場をつくったが、本市との関係は。

**答** 本市としては全面的に支援している。近年、静岡地区の鰹節生産者がEU諸国へかつおぶしを輸出している。

**問** カツオ関連のサプリメント開発に取り組んだらどうか。

**答** 既にDHAを初め多くのサプリメントができていますが、最近では美容に関する「カツオエラスチン」の美容効果が注目されている。

## ○自由討論

**問** 空き家が、今後ますます増加していくので、徹底して対策を考えてほしい。1軒1軒把握して、危険空き家については市民に危険を及ぼさないよう、行政は徹底して指導をしてほしい。また、空き家を住居用として活用してほしい。

**答** 市内の空き家調査の結果、1,083軒の空き家があり、A～Dのランクづけを行っている。危険空家の解体には、市から3分の1以内の補助（上限30万円）がある。空き家の活用については、空き家バンクを設置して活用を進めているので、当局へはさらに要望していきたい。

**問** 議会において、もっと市民にわかりやすいように運営してほしい。例えば、一般質問が終了した場合、「休憩します」ではなく、「これで誰々の一般質問を終わり、何時何分まで休憩します」と言うべきだ。

**答** 議会で改善をしていきたい。

**問** 健康増進政策においては、予防対策を最重点にやるべきだ。病気にならないよう、食事や運動など予防に力を入れるべきではないのか。議会は先進地等の研究はしていないのか。

**答** 議会で視察に行った長野県の先進事例に倣って、保健推進員を多数地域に配置して、市民の健康に対する意識を高めたり、運動や食事の重要性等、予防対策をさらに当局に要望していく。

**問** 枕崎の将来について、悲観的な要素が多く、非常に不安を感じる。10年後、20年後を見据えたまちづくりを示すべきで、そのためには人材育成が最も重要で若い人を育成し、オール枕崎でのまちづくりを推進すべきではないのか。

**答** 将来を担う若い人が枕崎に住みたいというまちづくりを推進し、いかに若い人をふやしていくかだと思う。それを実現するために、当局への政策提言を行っていききたい。

**問** 本市も、いちき串木野市のように焼酎で乾杯のおもてなし条例をつくり、盛り上げるべきではないのか。

**答** 以前、議会でも議論されたが、当局はやる気を示さなかった。おもてなし条例をもう一回提案してもよいのではないか。

**問** 老人クラブに加入していないが、集落の老人会で日帰り旅行等に市の福祉バスを出してもらえないか。

**答** 基本的には、老人会長を立てて市の老人クラブに登録して加入しないとバスは借りられないが、持ち帰り、市の担当課に聞いて後日回答する。

**問** 別府上手地区は、地域で簡易水道（小規模水道）を管理しているが、いろんな面において不安もある。将来的に市の上水道を整備する計画はないのか。

また、簡易水道（小規模水道）は水質検査等の補助はないのか。

**答** 上水道を整備すると莫大な予算を必要とし水道料金も現在よりも高額になることが予想される。地域の中で合意形成が図られたときは要望していただきたい。

当該地区における共同施行による取水、導水、浄水、送水、配水の施設の設置、または改善に要する経費は、補助率2分の1以内で補助金の対象となる。

**問** 新ごみ処理施設の進捗はどうなっているか。

**答** 4市で構成する衛生組合において建設候補地の南さつま市金峰町高橋に決定し、平成36年に稼働する計画で協議中である。

**問** 市議会はいかにして民意を吸い上げるかが大事であると思う。日常的に意見を吸い上げる方法も検討してほしい。

**答** 市民と市議会との意見交換会を実施して5年目になっている。本年前半には各種団体と議会の意見交換会も開催した。

今後、要望のあったことを踏まえ、この会をさらに充実させていきたい。

**問** 本市において、土地の未登記が農政関係（276件）、建設関係（182件）、財政関係（50件）、水道関係（1件）出ている。この事実をどのように考えているのか。

**答** 未登記の件は基本的に国が対応すべきであり、自治体としても努力していきたい。

**問** 行政は、道路だけつくって、その後の管理をやっていない。

**答** 担当課としては、道路パトロールしっかりやっていくと言っているが、市民の声として具体的に伝えておく。

**問** フランスかつおぶしの実態はどうなっているのか。

**答** 現在、フランスで製造しており、フランス・イギリスで販売をしている。焼津の業者がつくっているかつおぶしもEUに販売されている。

**問** 枕崎は産業全体において従業員不足ではないのか。雇用対策に取り組むべきではないのか。

**答** 農業においては鹿児島の人材センターから派遣してもらっている。建設業においては技術者が少なくなっている。外国人の技術者を育てる必要がある。

**問** ふるさと納税の返礼品割合はどのくらいで、経費代の割合はどのくらいなのか。

**答** 返礼品割合は30%で、経費は約20%である。内容については当局に確認する。

**問** 危険家屋（A）の解体費用補助金は、どのくらいあるのか。

**答** 解体見積額の3分の1以内で上限30万円までとなっている。

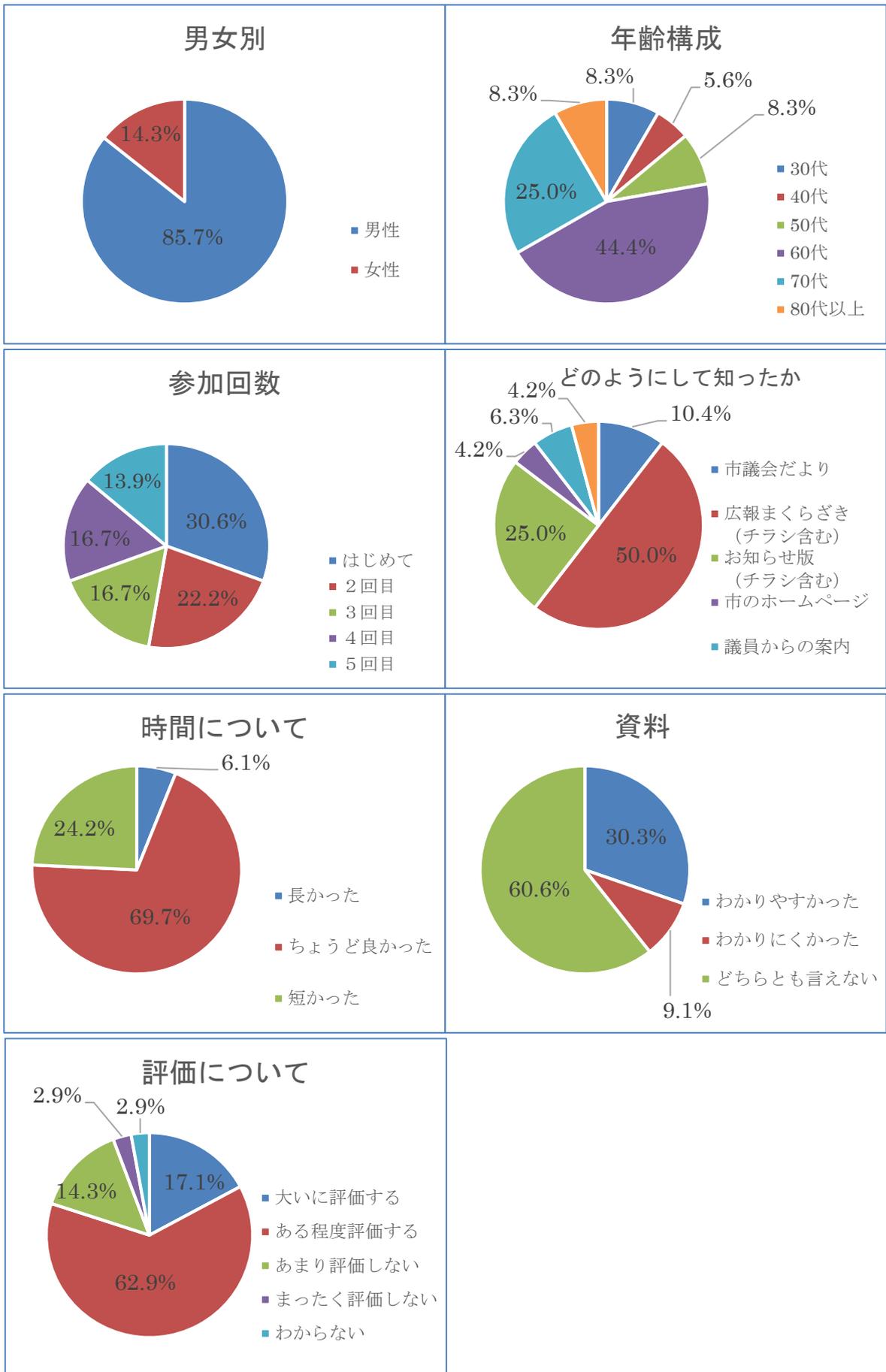
**問** ふるさと納税に対して、納税額をふやすために冠イベントは考えていないのか。県外へはPRしていないのか。

**答** 県外の枕崎会等やHP等に常にアピールしている。

### ○意見・要望等

- ◇ ふるさと納税は、しっかりと目標を立てて、10億や20億を目指すなどの意気込みがないといけない。
- ◇ ふるさと納税はあくまでも人頼みである。  
今後どのようになるのか、動向を注視していく必要がある。
- ◇ 市民一人一人が、枕崎を知ることが大事。  
そのうえで、人に伝え広めていくことが枕崎のPRを図る上で大事なことだ。
- ◇ 意見交換会への市民の参加が少ないのには驚いた。ふるさと納税については、ただ納税してもらっただけではなく、枕崎をPRすることにより、リピーターをふやすとか発展的に取り組んでほしい。
- ◇ ごみ処理施設にごみを持ち込む場合、有料にして、少しでも経費に充てたらどうか。
- ◇ 論点がずれて楽しくない。また、若い人の参加が少ない。
- ◇ 市民からの日常的な意見をくみ上げる仕組みと工夫が必要ではないか。U・Iターナーの在任地のコネクション・コネの繋がりを市政に活用しては。
- ◇ 内鍋清掃センターの受付に係員とガードマンが配置されているが、必要かどうか検討すべきと思う。
- ◇ 市の老人福祉バスの利用について、市老人クラブ連合会に未加入の老人クラブでも利用できるように検討してほしい。
- ◇ 枕崎市の夜間は照明が少なく、よそと比べ非常に暗いと思う。明るい町にしたい。
- ◇ 市議会の傍聴者が少ないと思う。議会としても傍聴の充実に努力すべきである。
- ◇ 災害時に倒木があり、撤去されるまで1日半かかった。災害時の倒木等の撤去についてどう対応されているのか。
- ◇ 売り家とする看板があるが、ゆずり家としてはどうか。

[アンケート調査の結果]



## ○今後の意見交換会（テーマ含む）の内容、運営などについて（原文のまま）

- ・ テーマがあるのなら事前に配付したらよいのでは。
- ・ 年に2回ぐらい開催してほしい。
- ・ 人が集まらない。PR不足ではないか。人が少ない。
- ・ 貴重な話し合い。集落から5名以上参加者が出てほしいと思います。
- ・ 回数をふやしてほしい。
- ・ 交通弱者の対策があると聞いてよかった。  
近い未来で考えたら商品券は有効だと思うんですが....。  
何十年たったときに人が住みたい（働くことも含め）町になってほしい。具体的に思いつかなくてすみません。  
イベントすることで外に出る若い人の納税を進めていけるとと思います。
- ・ テーマは少子高齢化、人口減少化についての枕崎市の取り組み。  
開催時期は春、秋（5月、10月）、開催回数は年2回、開催場所は市議会一任。
- ・ テーマは？
- ・ 私も今回議員さんから開催の日程を聞きました。興味が有ればケータイで調べたりできますが、年配の方々はネットは難しいと思うので、やはり公民館長がいらっしゃるので公民館を利用したり、回覧板や市報、いかに市民に見てもらえるかだと思います。あと、若者を集めるには、もっとワクワクする話を聞きたいと思います。あとは、市長の声がなかなか市民に届いてないのか...市民が聞こうとしていないのか...協力していきたいです。
- ・ 桜山のほうは、産業というよりは福祉、環境のテーマにしてはどうか。
- ・ テーマ、産業の振興ではなく文句ばかり言っている。会の進め方をもう少し考えたほうがいい。
- ・ 開催場所は、地区センターから校区単位（各公民館）でしたらどうか。
- ・ 時間帯を18時～20時30分くらいまでセットしたら時間的に意見が多く出て良い方向に進むと思います。

## ○今回の意見交換会について、何か気づいた点等（原文のまま）

- ・ 市民の参加人数が少ないと思います。  
よい機会だと思いますので、是非、より多くの市民が参加するための会にしていただければと思います。
- ・ まずは枕崎を好きになってもらう。枕崎市民が興味を持ってもらうことが必要。
- ・ 意見と回答の両方をホームページにアップして閲覧出来るようにする。ただ言いっ放しでガス抜きだけでは何の意味もないのではないかと。

○今回の意見交換会について、何か気づいた点等（原文のまま）（続き）

- 1つだけだと効果が得られないときに困るので2つ以上の分野でつかってほしい。  
例えばNHKニュースで見たのですが、畑の上で骨組みを組んでソーラーをする→再生可能エネルギーによる利益によって収益をサポートする。海の水をつかった再生エネルギーをつくることで市の収益をふやし、市の財政の体力をつける。  
子供に農業、水産業を知ってもらい枕崎に生まれて枕崎で働いてもらう。  
空き家など調査・整備して人が住みつく枕崎へ。
- 市会議員各位。真剣な討論に敬意を表します。激しい意見もあったが、意見は意見として。今回は黙す。
- 若者がおらん。年寄りだけ。
- 住んでいる私たちが枕崎をキライであれば何もできない。いい所をたくさん見つけようと思える意見交換会でした。
- 皆さん、市民の意見を聞こうとする市議の方々の気持ちは伝わっています。
- 進行係お疲れ様
- 建設的な意見が少ない。  
文句ばかり言うな！
- 生活インフラ（高齢化時代をむかえての）の充実が必要との意見あり→始良市がオンデマンド交通に取り組んでいるので参考にしたらどうか。  
地区センターとする形から校区単位（大きな公民館）でしたら。